

優良事業者表彰（事業者のくまエコ温暖化対策賞）

第5回受賞者（令和3年度）

・YKK AP 株式会社九州製造所

（写真）

（左）YKK AP 株式会社 村上 肇 九州製造所長

（右）田嶋 徹 熊本県副知事



【功績概要】

YKK AP 株式会社九州製造所は、従業員の提案によるソフト・ハード両面による省エネルギー対策を積極的に推進し、2020年度は2013年度比で約40%の温室効果ガス排出削減を達成している。

さらに、YKK AP 株式会社はSBT^{*}の認定を取得し、パリ協定に整合した2030年度の目標（グループ全体で2013年度比Δ50%）を設定し、温室効果ガス削減のさらなる取組みを推進している。

（YKK AP 株式会社九州製造所の温室効果ガス排出削減の状況）

2020年度の温室効果ガス排出量：29,776 t-CO₂（2013年度比Δ39.8%）

（具体的な取組み）

- ・工場内の空調増設に併せて屋根の断熱施工を実施し、冷暖房に係るエネルギー使用量を削減
- ・設備配置の最適化により蒸気配管長を短くし、配管からの放熱ロスを削減
- ・ボイラー燃料をA重油からLPガスに転換し、ボイラーの使用に係るCO₂排出量を削減
- ・空調機と警報システムを連動させ、異常検知時に自動で空調運転を停止するシステムを構築

※SBT（Science Based Targets）とは

企業が設定する温室効果ガス排出削減目標について、パリ協定の求める水準¹⁾と整合していることを国際的な機関(国連グローバル・コンパクト（UNGC）等)が認定する取組み。

事業者自らの排出だけでなく、原材料の製造や輸送、従業員の通勤等、事業に係るサプライチェーン全ての活動を対象とした排出量の削減が求められるほか、掲げる目標によって求められる削減率が異なる（2℃を下回る水準を目指す場合は年2.5～4.2%、1.5℃に抑える水準を目指す場合は年4.2%以上の削減）。

1)パリ協定の求める水準・・・世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの